

# 県医労新聞

2010年10月

盛岡市内丸11番1号  
岩手県医療局労働組合

電話 019-623-8271

FAX 019-623-8273

編集発行人

中野 るみ子

毎月1回発行 1844号(月刊59号)



8月28日 第56回日本母親大会in福島の全体会メインアリーナ(あずま総合体育館)

## 目次

- 1P 地域医療を守る全国交流集会  
中央委員会のお知らせ
- 2P 岩手医労連定期大会  
支部旅行のお知らせ
- 3P 日本医労連看護要求実現全国  
交流集会  
NANDAの研修のアンケート依頼
- 4P 保育合研
- 5~6P 女性部ニュース
- 7P 青年部ニュース
- 8P つぶやき、とんがらし  
8月号パズル当選者
- 9P 職場川柳、懸賞パズル  
10・11月の予定



文化行事でフラ・タヒティアンダンスを踊る子どもたち

# 地域医療再生へ向けて

## 初の全国交流集会開催



熱心に聞き入る全国から集まった参加者

長年の医療費抑制政策と医師養成抑制政策のもと、地域医療が急速に崩壊へと進んでいる中、全国各地で地域医療を守るために活動している地域住民や、労働組合が集まり、「第1回・地域医療を守る運動全国交流集会」が、9月18、19日の2日間、東京で開催されました。

1日目は、中央社保協の住江憲勇代表委員が開会挨拶をし、埼玉県済生会栗橋病院の本田宏副院長が「医療再生への処方箋」と題して記念講演をしました。



岩手町・佐々木清一さん

講演の中で本田氏は、日本の医療崩壊の背景には種々の情報操作があったことや、キング牧師の『後世に残る最大の悲劇は、悪しき人の暴言ではなく、善意の人の沈黙と無関心だ』という言葉をあげ「私達は、情報操作に惑わされることなく学習し、問題意識を持つて行動しよう」と呼びかけました。

その後、日本医労連の桂木副委員長から行動提起が行なわれたあと、全国各地の7つの特別報告があり、各地の様々な活動について詳しく聞くことができました。岩手からは、佐々木清一

### 第144回 中央委員会



日時 10月23日(土)  
10:00~16:00

場所 サンセール盛岡

秋・年末の運動を全組合員の知恵と行動力で！  
すべての中央委員と多くのオブザーバーの参加を！

さん（岩手町の医療と福祉を守る会代表）が「手を携えて、岩手の地域医療を守る運動を」と題して発表しました。

2日目は、各地域に分かれて分散会を行い、地域の現状や課題、今後の展望などを出しました。その中には、「この集会を継続してほしい」とことや、「全国レベルの連絡会をつくってほしい」こと等が出されました。

参加者からは、「有意義な集会だった」、「元気が出た」などとの感想が聞かれました。

全体の参加者は220名。岩手からは8名、うち県医労から4名が参加しました。

# 討論活発 満場一致で方針採択

## 岩手県医療労働組合

岩手医労連（県医労の上  
部団体。岩手県医療労働組  
合連合会の略称）の第63回  
定期大会が9月4、5日の  
両日、盛岡市つなぎ温泉「ホ  
テル大観」を会場に開催さ  
れました。新しい執行委員  
長に中野るみ子県医労委員



初の女性委員長に選出された中野委員長

長が選出され、岩手医労連  
初の女性・看護師の委員長  
となりました（さっそく地  
元新聞でも紹介されまし  
た）。  
運動方針の討論では、沼  
宮内病院の入院ベッドの存  
続をめざす地域の運動やB  
LS研修を病院との交渉で  
超過勤務であることを認め  
させ、年度当初に遡って支  
給させた胆沢支部、支部交  
渉で今年からBLS研修を  
超過勤務であることを確認  
した千厩支部、36協定を力  
に増員をめざす運動など、  
県医労の各代議員が発言。  
各単組からも衛生委員会活  
動や、サービスクル業を追究  
し数千円の実現し

たこと、人事評価での実態  
などが発言され、満場一致  
で採択されました。  
来年度予算では、臨時・  
パート組合員の加盟費を新  
設する提案がされました。

討論の中で闘争組合費（年  
2回）についても別枠とす



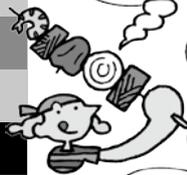
退任の花束を受け取る佐々木前委員長

るよう求める意見が出さ  
れ、執行部から提案を受け  
入れた修正案が示され、可  
決されました。  
新役員は委員長の中野さ  
んの他、副委員長に〇〇〇・  
同副委員長、書記次長に〇  
〇・同書記次長がそれぞれ  
信任されました。退任した  
佐々木委員長には、この間、  
争議等で親交の深かった旧  
盛精従組、花北病院労組等  
から花束が贈られました。

### 支部行事の紹介

#### 二戸支部

10/9(土)~10(日)  
青年部BBQキャンプ交流会  
軽米ミレットパーク



#### 山田支部

10/1(金) 東北ニューゼaland村と  
前沢牛オガタ~中尊寺の日帰りの旅

#### 中央支部

10/30(土) 女性部  
松島水族館日帰り旅行

#### 南光支部

11月中旬  
青年部ボーリング交流会

#### 胆沢支部

10/ 1(金) 学習会「給与明細の見方」  
10/15(金) 『リッチなランチを楽しむ会』  
10/16(土) かんたん料理&お菓子作り教室

# 看護要求実現全国交流集会

～ 労働組合への看護協会会長初の講演に拍手喝采 ～



会場いっぱいの参加者

日本医労連主催の「2010年看護要求実現全国交流集会」が9月7日・8日、東京・ホテルフロラシオン青山を会場に開催されました。当初予定の250名を大幅に上回り、350名の参加者となりました。1日目は、(現)看護協会の久常会長が記念講演で「看護の諸条件は、なぜこれほど改善されずにきたか」と題して、熱く語られました。

久常会長は、「これまでは看護師養成と、離職した潜在看護師に戻ってもらうことを重要な政策と考えてきた。でも、離職した看護師には離職したそれなりの理由があるのだ。それを變えない限り、看護師の大量離職の現状は變えられないと気づいた。看護協会は、養成や研修だけをやっていけば良いのではない。組合とも力を合わせて改善に取り組んでいかなければならない」と訴えました。講演終了とともに会場はわれるような拍手となりました。

講演の後は、基調報告が行われ、「看護師大幅増員」の要求に確信を持たせた等の感想が寄せられています。その後、職場からの報告として、7名の方から全国の

## いのちを大切にしたいから

### 雨の中、白衣の宣伝行動



200万署名を目標にした、日本医労連の全国キャラバン行動に併せ、岩手医労連も9月16日の昼休み、亀ヶ池前で署名・



雨の中で「署名お願いします」

宣伝行動をしました。当日はあいにくの雨の中でしたが、県医労の中央執行委員のメンバー14名は白衣に着替え、看護師の大幅増員や社会保障の充実を訴えました(当日は朝日テレビも取材にきました)。

署名をしてくれた70代男性は、「私達に大いに関係があります。ありがたいです。頑張ってください」と激励しました。

たたかいの状況が報告され、「委員会や研修会の取り扱い方針を管理部と協議しとりまとめた」等、大いに励まされるものでした。2日目は、各会場に分かれて分散会が行われ、活発な意見交換や職場実態の交流がされました。

## アンケートのお願い

看護部会では、NANDAの研修についてのアンケート調査をします。各支部1部です。実態について把握し、問題点を明らかにしたいと思います。協力よろしくをお願いします。



オープニングで歌う子どもたち (7日 アイスアリーナ)

8月7～9日、盛岡で開催された第42回全国保育団体合同研究集会には、全国から6,192名(内、岩手2,347名)が参加。3日間にわたって、保育・子育てのあり方について学び、語り合いました。子どもたちの元気な歌と、岩手の郷土芸能「さんさ太鼓」や「鬼剣舞」は、全国から集まった参加者を歓迎し、集会を盛り上げました。県医労からは要員も含めて3支部・本部17名が参加しました。

以下、寄せられた感想をもとに内容を紹介します。

**刺激になりました！**

**保育実践や運動**

2日目は岩手大学など3つの会場に分かれて11講座・47分科会・2シンポジウムが開かれました。

「食」に関する分科会では、実際にビスケット、スプーン、飲み物を用意して、上手な食べさせ方を体験しました。

いないとだめなんだという気持ちを持っていたが、今は、親の期待を背負って、その期待に応えなければダメな人間、必要ない人間だと思ってしまうと話していました。改めて、子どものためって何だろうということを考える機会になりました。

**こころ豊かな**

**優しい人間でありたい**

## 第42回全国保育団体合同研究集会

### 子どもたちの笑顔輝く保育・子育ての未来を

「絵本」の分科会では、大人は目で文を読んでいるのに対して、子どもは絵を見て、耳で聞いている。読み聞かせの楽しみは、みんなで、ワクワク、ハラハラする気持ち、同じ空間で共有することであることを改めて認識しました。

また、「子どものためって何？」の講座では、昔の子どもは自分に任された仕事があり、自分が

3日目は、フリージャーナリスト・堤未果さんの記念講演が行われました。

アメリカは自由があり、一度は行ってみたい憧れの国ーと思っていました。表と裏の事情が大きく違うことに驚きました。

ジャンクフードが主流で、栄養の知識が無く、食生活の乱れが子どもの肥満につながっていることにショックを受けました。

アメリカの保育士の時給が500円で、保育料の切り売り、子どもの顔や服が汚れていても何もしない、子育てしにくい国であることなど、日本とアメリカの保育や食に対する考え方の違いを知ることができました。

世界が平和であるためにも、心豊かな、人に対して優しくありたいと感じさせられた講演でした。



分科会で熱心に討論する参加者 (8日 岩手大学)

— 出会い、語り合い、手を取り合っで —  
**母親運動の志を引き継いで**

第56回 in二戸  
**岩手県母親大会**  
 6月27日



構成劇の土川マツエさん役の熱演と、山本ヨシノさん  
 (左から2人目)、立花サメさん(右)

55年前、第1回世界母親大会がスイスで行われました。岩手県母親大会は、その大会に土川マツエさんを日本代表の一人として送り出した県北で開催されました。

午前中は分科会。産廃の実態を知る移動分科会や見

学分科会など9分科会が行われ、地域興して元気な町・村をつくる活動を報告した分科会や、農業にかける夢とロマンを語ったシンポジウムでは、会場からも発言が相次ぎ、交流の輪が広がりました。

午後の全体会は、地域の

生活のエネルギーの源となってきた盆踊り「ナニヤトヤラ」で開幕。迫力のある太鼓としなやかな踊りで会場を魅了しました。

構成劇は、母親運動の歴史、いのちを育み、守るという当たり前のことを大事にしてきた女性たちの思い、運動が良く伝わるものでした。なかでも、土川マツエさん役の熱演と、当時、土川さんを世界母親大会に送り出した山本ヨシノさんと立花サメさんの登場は感動を呼びました。

この日、会場の二戸市民文化会館には県内から1,031名が参加、県医労からは15支部・本部80名が参加しました。

**記念講演** **子どもたちのいま、そして未来**

新妻二男さん(岩手大学教授兼評議員)

記念講演は、ユーモアと親しみあふれるお話で好評の新妻二男さん。親の実情も交えながら、今の子どもたちの置かれている状況を客観的に解き明かし、子育てを励ましてくれました。参加者からは「自分を振り返ることができた」「子どもたちに新しい気持ちで向き合えるような気がしました」などの感想が寄せられました。



講演する新妻二男氏



オープニングを飾った「ナニヤトヤラ」

**特別報告**

全体会では、5月にNPT再検討会議ニューヨーク国際行動に参加した県医労の特別報告をし、「核兵器のない世界の実現をめざして、できることから行動を起こしましょう」と訴えました。



副委員長

女性部

第56回 in福島  
日本母親大会  
8月28・29日

暮らしに憲法をいかに  
平和で、健康な暮らしが幸福の必要条件

第56回日本母親大会は8月28・29日、福島県で開催され、全国から延べ1万3000人が参加。岩手県代表団はバス6台で、239名と子ども12名(県医労からは11支部・本部26名と子ども10名)が参加しました。

あずま総合体育館で行われた1日目の全体会は、メインとサブに分かれて行われ、それぞれ福島の伝統芸能「霊山太鼓」と「相馬野馬追い」で開幕。メインアリーナでは、東北大学名誉教授の日野秀逸さんの記念講演、サブアリーナではNHKアナウンサーの古屋和雄さんをコーディネーターに、食・農・環境問題を考えるシンポジウムが行われ



全体会メインアリーナのオープニングを飾った「霊山太鼓」(8月28日、福島市あずま総合体育館)

初参加の組合員は「自分や権利を大切にしなければと思った」「一人ひとりの力を、大きな力に変えていく取り組みに感動した。大会で得た発見は私の今後の生活に大きく影響を与えてくれると思う」と感想を寄せています。

2日目の分科会は、福島大学を中心に、子ども・暮らし・男女差別・平和など多彩なテーマで行われました。岩手県の沢内村を舞台にした映画「いのちの山河」も上映され、いのちと憲法との関わりを考える機会になりました。

記念講演  
平和と健康は幸福の必要条件  
—憲法的人間像を求めて

日野秀逸さん(東北大学名誉教授)

「私の母は第1回日本母親大会に参加しています。私にとって母親大会は社会と自分をつなぐ窓のようなもの」と話し始めた日野さん。戦争がいかに女性を苦しめてきたか、人びとが幸福に生きるために平和がいかに大切かを国際



講演する日野秀逸氏

的、歴史的な視点から話され、「平和で健康で文化的な暮らしが幸福の必要条件である。憲法に根ざした国を実現させましょう」と話しました。



全体会サブアリーナの「食・農・環境シンポジウム」(8月28日、福島市あずま総合体育館)



全体会閉会で来年の開催地・広島があいさつ(同・同)



# つばざき

一関で毎年開かれてい

「地ビール祭り」に行っ  
きました。中日の夕方に行  
ったのですが、昼暑かつた  
せいか、売り切れ続出、大  
賑わいでした。また、来年  
もいきたいと思えます。

千既支部 ヘラクレス



職場の雰囲気良くない  
です。仕事は楽しくやりたい  
のになあ。ストレス解消  
に旅行したいなあ。

宮古支部 匿名

今年の夏は暑い日が続き  
ますね。こまめに水分摂取

を心がけています。今、は  
まっているのは水出し紅  
茶。特にフレーザーパーティが  
お気に入りです。

大船渡支部 はなちゃん

猛暑が続き、熱中症続出  
です。実家の父も毎日畑  
に出ており、心配した私は

「畑には行かないように」と  
伝えたと、その日は、田  
んぼに行ったと後で母に聞  
き、苦笑するしかなかった。  
中央支部 クッキーママ

最近のお気に入り「ゲ  
ゲの女房」です。憧れの  
主婦ですが、主婦もやっぱ  
り大変ですね。

釜石支部 白くま

今年暑い夏でしたが、  
少くだけ朝晩の風が涼し  
くなつて来ましたよ。もう  
少しです。がんばりましよ  
う。

大船渡支部 すいとう

## 八月号パズル 当選者発表

8月号パズル「まちが  
いは7つ」には19名の応募  
があり、19名の方が正  
解でした。厳正なる抽選  
の結果、次の10名が当選  
されましたので図書カー

ドを贈ります。  
8月号当選者(敬称略)  
モモ、すいか(二戸支  
部)、匿名希望(中央)、シ  
ラネアオイ(南光)、ドス  
コイ王子(千既)、かき水  
(大東)、すいとう(大船  
渡)、白くま(釜石)匿名  
匿名希望(宮古)

## とんがらし

「来年も絶対行  
きたいです!」み  
ちのくアクトへ  
初めて参加した  
岩手のあるメン  
バーは、閉会式  
後、楽しそうに話  
していました。去  
年の全国アクト  
に参加した私に  
も、共感できるものがありまし  
た▼医療現場で働いていると  
いう共通点はあるものの、全く  
の見ず知らずの男女数名が班  
になり3日間を過ごす。これは  
さすがに緊張します。でも、よ  
く考えれば周りも同じ条件。  
つまらない3日間をやり過ご  
すよりは、仲良く楽しく過ご  
した方がもちろん良い。お互い  
考えが同じだから、打ち解け  
るまでに時間はかかりません。  
3日後には長年来の友達のよ  
うな関係になり、涙で別れを  
惜しむ光景もあります。緊張  
していた初日が嘘のように「楽  
しかった」という気持ちに変わ  
っています▼アクトには目的  
の通り楽しく交流出来る企画  
が盛りだくさんです。夜は必ず  
お酒を酌み交わして語り合い、  
オプショナルツアーは班で開  
催地の名所や名物を楽しむこ  
とが出来ます。そして何と言っ  
てもメインイベントはアクト  
の「夜祭り」。各都道府県や地  
方毎にステージ上で歌って踊  
って騒ぐという若者ならではの  
企画です。参加者全員が一体  
となり、熱気と興奮の時間が  
楽しめれます▼今回、私は違う  
視点で参加しました。それは、  
実行委員会メンバーとしての  
参加です。アクトの企画運営は  
並大抵ではありません。事前  
会議から大変さは伝わってお  
り、アクト参加者に楽しんで  
もらうため、様々な知恵を出し  
合いました。当日はさらにハー  
ド。中心メンバーは、わずかな  
睡眠で運営にあたっていました  
。閉会式ではそんなハードな  
役目を終えた実行委員の顔に  
笑顔と涙が溢れていました。特  
に中心的役割を果たした開催  
地青森のチームワークと人柄  
の良さに感動すると共に、一般  
参加とは、また違う交流と新  
しい発見を体験することがで  
きました▼「百聞は一見にしか  
ず」。是非アクトへ一度参加し  
てみることをおすすめします。  
一度行けばあなたもリピータ  
ーに!?何と言っても青年部の  
うちにしか参加出来ないです  
し…。(ひ)



## 青年部長・書記長会議

**と き** 10月30日(土) 13:00~

**と ころ** ホテル森の風鶯宿

フレッシュセミナー終了後、開催します。支部の青年部長、書記長または青年部担当の方はご参加ください。

## 職場川柳

◇仕事して！ 超勤気にせず 存分に！  
(看護を受けた一患者)

◇帰れない 部分休でも 時間外  
(一応、部分休業取得者)

◇足りないよ！ 人も時間も 睡眠も  
(県立病院職員の悲鳴)

◇今度こそ！ 誓いむなし 体脂肪  
(暑かったのにやせられなかったなあ)

◇夏季休暇 研修行つてと 言わないで  
(頼みます、師長さん) (応募ハガキより)

・職場での出来事を川柳に見ませんか？皆さんの川柳を募集します。

- ### 10月の予定
- 2日(土)~3日(日) 日本医労連全国女性集会(長野)  
健康で安全に働くための交流集会(伊東)
  - 7日(木) 岩手医労連女性部定期大会(国保会館)
  - 7日(木)~10日(日) いわて労連20周年韓国視察旅行
  - 9日(土) イラク戦争帰還兵の証言集会(サンビル)
  - 9日(土)~10日(日) 岩手医労連壮年部集会(ホテル大観)
  - 16日(土)~17日(日) いのちと健康を守る東北セミナー(仙台)
  - 21日(木) 社会保障費を増やして、国民集会(東京)
  - 23日(土) 第144回中央委員会  
いわて労連女性部定期大会
  - 29日(金)~30日(土) 日本医労連精神労組全国交流集会(東京)  
フレッシュセミナー(ホテル森の風鶯宿)
  - 30日(土) 青年部長・書記長会議( // )  
盛岡労連ピラ・ニュース作り教室(公会堂)
- ### 11月の予定
- 3日(祝)~4日(木) 日本医労連自治体病院労組交流会(つなぎ)
  - 13日(土) 岩手医労連36協定・衛生委員会担当者会議  
諸要求実現県民集会
  - 13日(土)~14日(日) 県医労青年部中央交流会(東京)
  - 20日(土)~21日(日) はたらく女性の中央集会(横浜)  
東北地方協精神労組交流集会(鳴子)  
日本医労連病院給食問題全国交流集会
  - 27日(土) はたらく女性の岩手県集会  
いわて労連女性部20周年レセプション  
いわて労連青年部定期大会
  - 27日(土)~28日(日) 日本医労連東北地方協保育所交流のつどい(宮城)

## 懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つ  
の間違い箇所の印をつけ、  
ハガキに貼付して、応募し  
て下さい。正解者の中から、  
抽選で10名の組合員に図書  
カードを送ります。送る先  
は〒020-0023 盛  
岡市内丸1-1、県医労「懸  
賞パズル」係まで。締切は10  
月末日(必着)です。また、抽  
選には関係ありませんが、  
ハガキの余白に「つぶやき」



まちがいは7つ



(職場の話題など何でも)  
を、ぜひ一言お書き下さい。  
県医労新聞で紹介する場合  
がありますので、匿名希望  
の場合には、その旨を書い  
て下さい(ペンネーム可)。  
ただし、当選した場合は、記  
念品の送り先が必要となり  
ますので、支部名・本名の  
記入をお忘れなく！